
令和2年度
阪神北☆夢づくり応援事業事例集



阪神北県民局県民交流室県民課

令和2年度 阪神北☆夢づくり応援事業事例集 目次

No	市町	団体名	事業名称	ページ
1	伊丹市	稲野地区氏神奉賛会	楽しく学ぼう！ 地域の歴史 Part3	1
2	伊丹市	こうの池のつどい場 なないろ カフェ	集まれ！地域の高齢者～こうの池のつどい場～	3
3	伊丹市	特定非営利活動法人 A&C.P芸術・文化振興会	ピアノを弾こうよ！「ピアノひいてみ亭な～♪」 vol. 3	7
4	宝塚市	記憶の中の「生」再現プロジェクト	宝塚「生」の祈り2021	9
5	宝塚市	しぜんクラブ	宝塚 子供と自然のふれあいプロジェクト	11
6	宝塚市	宝塚すくすくアカデミー	阪神北☆子育て応援コンソーシアムを作ろう！	13
7	宝塚市	宝塚にしたに里山ラボ	西谷の地域資源を活かした里山の魅力を発信する 冊子	15
8	宝塚市	特定非営利活動法人 宝塚メ ディアネットワーク	巡礼街道活性化プロジェクト	18
9	宝塚市	にしたによいしょ	2020「にしたによいしょ」プロジェクト	20
10	川西市	Apple kids	親子でほっとする0才からの赤ちゃんひろば	22

令和2年度 阪神北☆夢づくり応援事業事例集 目次

No	市町	団体名	事業名称	ページ
11	川西市	一般社団法人Sasabase	みんなでマルシェ2020	24
12	川西市	エジソンクラブ	親子で楽しむ科学実験教室	26
13	川西市	かわにし音灯り実行委員会	かわにし音灯り2020	28
14	川西市	多田東コミュニティ協議会	わがまち再発見プロジェクト	30
15	川西市	はなまるクラブ	読書・社会貢献活動応援、地域担い手土壌づくり	32
16	川西市	東久代むつみ自治会	東久代むつみ産直市場	34
17	三田市	NPO法人里野山家	高平地域耕作放棄地活用活動	36
18	三田市	市民活動団体ハッピーオアシス	～輝く未来のために～	40
19	三田市	高平郷づくり協議会	「高平ふるさとマップ」で地域おこし	44
20	三田市	特定非営利活動法人 ボランティアアユート	安心して住み続ける地域づくり、見守りあい笑顔があふれる街作り	46

令和2年度 阪神北☆夢づくり応援事業事例集 目次

No	市町	団体名	事業名称	ページ
21	三田市	能楽と郷土を知る会	民話狂言「くわばら」初披露公演	48
22	三田市	波豆川区	波豆川村史改訂版再編発刊事業	50
23	三田市	ふれあい活動推進協議会武庫小校区	親子支援事業「はたけであそぼう！」	52
24	猪名川町	阿古谷みらい協議会	芋掘りと焼き芋をしよう	54
25	猪名川町	猪名川町観光ボランティアガイドの会	猪名川の魅力発見、微笑みの里巡り	56
26	猪名川町	いながわりリンク	あわてんぼうのクリスマス★ナイト2020	59
27	猪名川町	市民活動団体machiomoi	地域の魅力発信地域情報誌「tocotoco」発行&女性向け地域活動セミナー	62
28	猪名川町	ママのねフェスタ実行委員会	妊産婦の不安と孤立感の解消を目指した「My助産師」普及啓発事業	65

事業名	(楽しく学ぼう！ 地域の歴史 Part 3)
------------	--------------------------

団体名	稲野地区氏神奉賛会	代表	川本 良和			
協働団体	無し					
活動地域	伊丹市稲野町					
事業の 目的・趣旨	<p>当初は「楽しく学ぼう！地域の歴史 Part3」という、参加者有志が一同に会しての歴史勉強会を予定していました。しかし、参加者及び関係者に高齢者が多く、新型コロナウイルスの感染リスクが高いことから、同事業の実施は困難であると判断しました。代替事業を実行委員会にて協議した結果、「第1回～第2回の勉強内容の要旨及び今回の新しい内容を取り入れた小冊子を制作する」ことで決定しました。</p> <p>なお、事業の内容につきましては、先般にご提出させていただきました「補助金交付決定内容変更申請書」のとおりで、従前の活動内容も盛り込んだ小冊子の制作を行いました。</p>					
事業内容	<p>第1回勉強会（2018年12月開催）、第2回勉強会（2019年12月開催）の勉強内容の要旨を包括し、かつ、今回の新しい内容を取り入れた小冊子を制作しました。</p> <p>なお、小冊子については、稲野町住民、伊丹市教育委員会、執筆協力者に配布しました。</p> <p>【事業内容】</p> <p>1 日本の伝統、風流の一つである、俳句/和歌/川柳で、地域に対する想い、家族への愛、我が人生を語って頂く。地域の方々全員に広く応募を呼び掛ける。</p> <p>2 昭和30年代、40年代の地域の写真を掲載し、どの様に発展してきたかを分かり易い解説を交えて、皆さんに親しんで理解してもらう。</p> <p>【小冊子概要】</p> <p>サイズ：A4 ページ数：20ページ（表紙、裏表紙含む） 印刷部数：500部</p>					
事業 スケジュール	実施日（年-月-日）		事業概要	参加人数（人）		
				スタッフ	来場者等 参加者	
	2	8	1	世話人会（全体スケジュール打合わせ）	17	
	2	9	30	臨時実行委員会（地域歴史小冊子の発行決定）	16	
	2	10	7	第1回実行委員会（役割分担/スケジュール）	10	
	2	10	14	第2回実行委員会（資料/作品募集開始）	5	
	2	10	28	第3回実行委員会（資料/作品内容確認）	5	
	2	11	18	第4回実行委員会（資料/作品内容確認）	10	
	2	12	9	第5回実行委員会（資料/作品内容確認）	10	
	2	12	16	第6回実行委員会（掲載内容決定/ページ割り振り）	10	
	3	1	10	小冊子完成/配布スタート	15	
	3	2	3	反省会	7	
<p>（実行委員会及びその時々の打合せは、密を避けて、電話を含みリモート打合せ、書類持ち回り回覧などでも実施しました。）</p>						

<p>事業効果</p>	<p>当初、お題を指定しての俳句/和歌/川柳への投稿者がどれ位おられるのか不安だったが、目標の10句を大きく超える投稿に加え、熱く地域を語って頂く散文投稿、古い写真の提供もあり、皆さんの地元愛を感じる結果となりました。皆様から届いた読後反応から、この小冊子で概略の地域の歴史を知ってもらったことにより、地域により愛着を持って頂いたものと確信しました。このような方々が集合すれば、将来の大災害時等、いざという時の共助の地域対応の底力となります。大きな成果をあげました。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>3年間に亘って実施した、第1回、第2回地域の歴史勉強会、それを集約した小冊子発行をベースにして、今後も毎年の勉強会を継続し、地道に活動していきたい。 財政基盤が弱い弱であるため、自立的な運営体制への移行を目指して何かしらの工夫を加えて行きたい。</p>

(活動状況写真)

R2. 8月1日 →
勉強会



←
R3. 2月3日 反省会

団体名 稲野地区氏神奉賛会

団体設立 西暦1976年 3月 1日

活動分野 社会教育、まちづくり

設立目的 各行事を通じて稲野地域の皆様と顔見知りになり、お互いに心をつなげて協働し合い、助け合って明るく住み良い町にする。

事業名 (集まれ! 地域の高齢者 ~この池のつどい場~)

団体名	この池のつどい場 なないろカフェ		代表	岩下 奈々子	
協働団体					
活動地域	伊丹市鴻池				
事業の目的・趣旨	地域の高齢者が気軽に立ち寄れ、幅広い世帯が相互に交流できる場所を提供する。 同時に、活動拠点を、地域と連携した様々なボランティア団体等のイベントの場として活用いただくことにより、地域の活性化に貢献することを目的としている。				
事業内容	1 なないろカフェ事業 【誰でも気軽に寄れる憩いの場を提供】 2 イベント事業 【高齢者が相互に交流できるイベント】 ・ハーモニカサロン+ご意見サロン(1/月で開催) ・パソコン・スマホ勉強会(1/週で開催) ・自由カフェ～地域の居場所～(1/週で開催) ・健康マージャン(1/週で開催) ・運動不足解消のための卓球教室(1/週で開催) ・なないろ音楽会(1/月で開催) ・女子会(1/週で開催) ※各人が得意分野を活かし各種講座を開催 等 ※いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加者人数を制限し、ソーシャルディスタンスを確保しつつ実施した。 3 レンタル事業 【事業継続のための会場(固定資産)の有効活用】				
事業スケジュール	実施日(年-月-日)		事業概要	参加人数(人)	
				スタッフ	来場者等参加者
	2020	4 ~	パソコン勉強会 ・スマホ勉強会	各4	各3
	2021	3	卓球教室	各1	各2
			ハーモニカサロン	各3	各5
			ご意見サロン	各4	各5
			健康マージャン	各1	各4
			カラオケ	各1	各3
			女子会	各2	各3
	2020	7 8日	イラスト描画講座	1	3
		7 10日	スマホ超基礎講座	1	5
		7 17日	ブロックに絵描き	5	5
		7 23日	シャッターに絵書き(7/31・8/7・10/19・11/12・11/27・12/2完)	各5	各5
	9 18日	女子会 絵手紙 10/16	1	3	
	10 28日	カードゲームの日 宮本氏講座	1	5	
	11 14日	店頭音楽会開催	4	15	
	12 ~3月	映画の日開催決定		3	
	12 25日	二胡演奏会・クリスマス会開催	3	10	
2021	1 27日	認認カルタ カードゲームの日 開催	1	5	
	2 19日	自由カフェ 立ち上げる			
	2 19日	足湯体験会	1	3	
	3 27日	音楽会 in 店頭ライブ by 2周年 開催	4	18	

事業効果	<p>昨年度から引き続き、コロナ禍での活動となったが、家にこもりがちな高齢者にとっては、地域の方々と交流する動機付けになったという声をいただいている。 /</p> <p>今後は他の団体と積極的に協働を図るとともに、地域内の新たなコミュニティの形成にも寄与していきたい。</p>
課題及び今後の展望	<p>今後も新型コロナウイルスの影響は継続するものと見込まれるので、引き続き感染症対策は万全に行い、地域の方々安全に、安心してつどえる場を提供していきたい。 /</p> <p>また、今年度から、伊丹商工会議所の会員に加入し、そのつながりで地域の公民館にチラシを配架いただくことができた。当団体の活動をより多くの方々に知っていただくためにも、広報活動に力を入れていきたいと考えている。</p>

(活動状況写真)

別添のとおりです。

団体名 こうの池のつどい場 なないろカフェ

団体設立 西暦 2018 年 11 月 22 日

活動分野 地域の居場所づくり /

設立目的 地域コミュニティ広場として、気軽に立ち寄れる場所の提供と、地域社会に貢献することを目的とする。



9月18日 絵手紙づくり



10月7日 ハモニカサロン



10月12日 パソコン勉強会



10月16日 絵手紙づくり



10月27日 地区社協との意見交換



10月28日 認知症カードゲームの日



11月4日 ご意見サロン



11月10日 写真イラスト展示

事業名 (ピアノを弾こうよ! 「ピアノひいてみ亭な〜♪ vol. 3)

団体名	特定非営利活動法人 A&C. P 芸術・文化振興会	代表	高橋 雅子				
協働団体	公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団、伊丹市						
活動地域	伊丹市						
事業の目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・普段とは異なる空間にピアノを置くことで、音楽が好きな人、ピアノの愛好家やピアノに興味がある人が気軽に立ち寄り、触ったり、弾いたり、引きが語ったり、鑑賞し合ったりして、様々な楽しい一時を過ごせるような憩いの空間を創る。 ・ミニコンサートの時間を設定して、集った人が音楽を通して楽しい時間を共有する。 						
事業内容	<p>◎「ピアノひいてみ亭な〜♪ vol. 3」実施内容 開催日時 令和3年2月20日(土) 10:00~18:00 開催場所 いたみホール(伊丹市立文化会館) エントランスホール 内容・いたみホールのエントランスホール(ロビー)に一日ピアノ(アップライトピアノ)を置いて、一般に開放した。会場を、ピアノの試し弾きから、演奏、弾き語り、コーラスやアンサンブルなどが自由にできる音楽広場にした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの他、打楽器・ギターの体験コーナーも併設した。 (感染防止対策としてヴァイオリンコーナー中止、ギターコーナー規模縮小で行う) ・来場者からピアノ伴奏の希望(歌、ピアノやその他の楽器演奏の伴奏)があれば、それに応じる企画も盛り込んだ。 ・ミニコンサート(約30分を3回)を開催し、来場者が様々な音楽(クラシック・ジャズ・ポップス・ラテン)を聴いて楽しめる時間を設定した。 <p>参加者 来場者のべ約300人(ピアノを弾いた人は100人を越えた)</p>						
事業スケジュール	実施日(年-月-日)		事業概要	参加人数(人)			
				スタッフ	来場者等参加者		
	2020	10	11	理事会	・実施内容の検討協議	5	300
	2019	11	15	理事会	・フライヤー制作、広報に関する検討 ・ミニコンサート出演依頼 途中経過報告 ・実施要項、開催内容、コロナ対策検討 ・ピアノ運搬等手配について決定	5	
	2021	1	31	理事会	・開催内容詳細検討 (会場内配置、進行など) ・ミニコンサートⅢ部リハーサル	9	
	2021	2	19	最終打合せ・会場準備・リハーサル(前日)		13	
	2021	2	20	「ピアノひいてみ亭な〜♪」開催当日		26	
	2021	3	21	理事会	・開催結果について振り返り(反省会)	5	
	2021	3	28	理事会	・事業報告書作成	5	

<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令の中、感染拡大状況を注視しながらの準備が続いたが、感染防止対策を徹底しながら無事に開催実施し、当日は開場とともに多くの音楽(ピアノ)に興味のある来場者が訪れた。(来場者約300人) ・会場では老若男女、様々な人が、色々な楽しみ方で音楽と触れ合い、交流し、和やかな雰囲気空間となった。 ・ピアノの他、打楽器・ギターの体験コーナーも一日中人が途切れることなく、目標とした「楽しい音楽広場」を実現することができた。 ・3回のミニコンサートの時間は、ピアノ、ヴァイオリン、サックス等の美しい音色や楽しい音楽を鑑賞できる時間として、多くの来場者に喜ばれた。 ・全体を通して、市民から多くの参画を得て、継続開催を期待されるような催しとして成功した。 ・来場者のアンケートでは、今回も「良かった」「楽しかった」と多くの好評を得ることができた。新型コロナの社会状況が厳しい中、準備や運営面で難しい点もあったが、このように多くの人が音楽を通して集える催しが実施できたことは、たいへん意義深いと感じた。
<p>課題及び今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノを弾きたい人が殺到した場合に順番カードを渡すなどの対策を講じ、スムーズに行進することができたが、演奏時間が長いために順番待ちに予想以上の時間がかかるケースがあった。次回の開催では、一人当たりの持ち時間の設定等を行って、よりスムーズに運営ができるよう備えていきたい。 ・継続開催が望まれるイベントを運営するためには、開催経費をどのように調達して維持していくべきか、今後のことを考える上で検討を重ねていきたい。

(活動状況写真)



来場者がピアノを弾く様子



打楽器コーナー



ギター体験コーナー



ミニコンサート (第Ⅱ部)



ミニコンサート (第Ⅲ部)

事業名	(宝塚「生」の祈り 2021)
------------	-------------------

団体名	記憶の中の「生」再現プロジェクト	代表	大野良平			
協働団体	無し					
活動地域	宝塚市中心市街地（阪急宝塚南口駅周辺）					
事業の目的・趣旨	<p>アート作品「生」の石積み制作とライトアップ、それに付随するイベント。未曾有の大災害、阪神・淡路大震災の記憶を次世代へ伝える。</p> <p>大雨で流されても何度でも再生する武庫川中州でのアート、「生」の石積み（幅約 10m×奥行き約 20m×高さ約 0.8m）の共同制作をとおして市民相互の絆を深める。</p> <p>震災を知らない若い世代をターゲット。親子での「生」の石積み体験。</p> <p>自然の豊かさ、自然の怖さ、命の大切さについて考える機会とする。</p>					
事業内容	<p>宝塚「生」の祈り 2021</p> <p>阪神・淡路大震災から 26 年。震災の記憶を風化させない。次世代に命の大切さを伝える。</p> <p>12 月、みんなで積もう！「生」の石積み。7 月に大雨で消失した「生」の石積み。11 代目「生」が完成。1.17 前夜に「生」ライトアップ。同時に宝塚大橋南詰金属製「生」モニュメント前ライトアップ。</p> <p>市民参加の震災追悼セレモニーを実施。宝塚歌劇団 O G, トランペット奏者出演。</p> <p>コロナ禍における震災犠牲者追悼。震災を知らない若い世代が命の大切さについて考える機会とする。</p>					
事業スケジュール	実施日（年-月-日）		事業概要	参加人数（人）		
				スタッフ	来場者等参加者	
	2	6	6	会議（コロナ禍におけるイベント開催への検討）	5	
		10	3	会議（宝塚「生」の祈り 2021 へむけて）	5	
		10	17	会議（宝塚「生」の祈り 2021 内容決定）	5	
		11	7	会議（みんなで積もう！「生」の石積み役割分担）	5	
		12	5	みんなで積もう！「生」の石積み①	10	80
		12	6	みんなで積もう！「生」の石積み②	10	100
	3	1	9	会議（宝塚「生」の祈り 2021 役割分担）	8	
		1	16	宝塚「生」の祈り 2021	10	150
	2	27	会議（反省会）	8		
	3	20	事業終了			

<p>事業効果</p>	<p>阪神・淡路大震災から 26 年。 震災の記憶風化が危惧されるなか、コロナ禍にも関わらず追悼セレモニーに 150 名の来場参加者を動員することができた。メディア、新聞各紙が本事業を大きく取り上げた。 本事業もまる 10 年。継続は力。「生」石積み参加者もリピータが増加傾向。過去最多の 180 名が参加。特に親子連れの参加が多い。「生」石積みの活動をとおして命の大切さを子どもたちに伝えたいという思い。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>本事業を維持する安定した経費の確保。 次世代を担う子どもたちへむけて、何度流されても復活する「生」の石積みをとおして再生のメッセージを発信。命の大切さや生き続けることの意味について市民とともに考える場。地域との連携。事業継続へむけてのモチベーションを高める。</p>

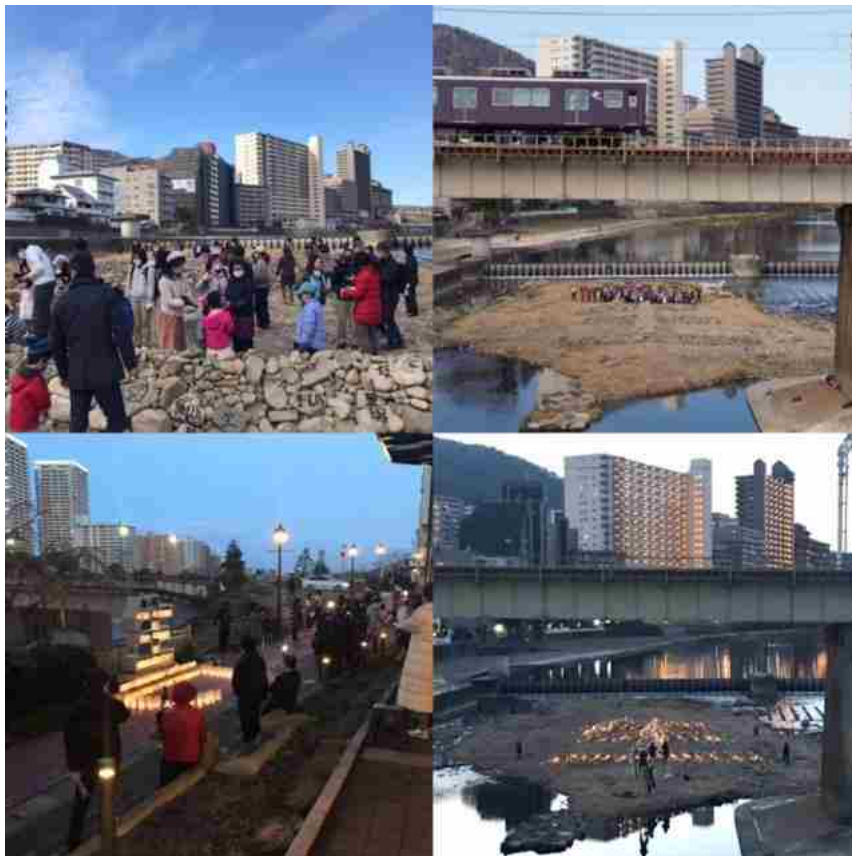
(活動状況写真)

上段 (左) : みんなで積もう! 「生」の石積みの実施

上段 (右) : 11 代目「生」完成記念撮影

下段 (左) : 宝塚「生」の祈り 2021 会場風景

下段 (右) : 「生」ライトアップ準備風景



団体名 記憶の中の「生」再現プロジェクト

団体設立 西暦 2010 年 10 月 26 日

活動分野 地域交流イベント

設立目的 「生」PJ は、未曾有の大災害阪神・淡路大震災を風化させないとともに、街の復興や人々の心の再生への想いを大雨で流されても何度でも再生するアート「生」石積みオブジェにシンボライズさせるものである。「生」の石積みやライトアップ活動をとおして人々との心の交流や絆を深め、生きる力を発信する。また、震災を知らない若い世代や子どもたちへむけて命の尊さや防災意識を高める一助とする。

事業名 (宝塚 子供と自然のふれあいプロジェクト)

団体名	しぜんクラブ	代表	榊原信行			
協働団体	宝塚市立老人福祉センター、いきいき学舎・フレミラ					
活動地域	宝塚市					
事業の目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・宝塚市居住の小学生に自然と触れ合ってもらい、自然のことを学んでもらう。鳥、虫、草花、等と触れ合うことで命について学び、観察力、やさしさを育み、また、工作することで創造力や豊かな感性を育てる。 ・クラブ会員は子供に教える為に、宝塚市特有の種や様々な生物を観察し、勉強して知識を蓄え学んでいく。 					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「野鳥の巣箱作り」の開催 日時：2020年10月24日(土曜) 9:30~10:30、11:00~12:00 場所：フレミラ工芸室 内容：近隣の小学生3年生~6年生を先着順で募集。 野鳥の話の講義。巣箱を作る。 コロナ禍の下、三密を避ける為、1部2部に分けそれぞれ定員を10名にしてクラブ会員がマンツーマン指導をする。 ・「有馬富士・森ウォーク」へのクラブ会員参加による勉強会 日時：2020年11月29日10時~14時 内容：有馬富士公園・森を森林インストラクターが自然や生態について案内・解説をし、それを学ぶ。 					
事業スケジュール	実施日(年-月-日)		事業概要	参加人数(人)		
				スタッフ	来場者等参加者	
	2020	7	28	第13回会議：コロナ禍における年間イベントの策定、巣箱作りの検討	1	1
		8	30	「自然の家」にて講師指導による巣箱材料のカット事前研修	1	1
		9	2	第14回会議と講師指導による会員の巣箱作り体験	1	2
		10	7	第15回会議：イベント(巣箱作り)の準備	1	2
		10	16	「自然の家」にて講師指導による巣箱材料のカット、バーナー焼き。	1	3
		10	24	「野鳥の巣箱作り」の開催：講師による野鳥の講義と参加者の巣箱作り。	1	2
		10	28	第16回会議：反省会、次回イベント・ネイチャークラフトの検討	1	2
		11	29	有馬富士ウォーク勉強会	7	
2021	1	13	第17回会議：ネイチャークラフトの準備	8		
	2	4	役員会にてネイチャークラフトの中止を決定	4		
	2	5	会員に今年度の全ての中止の連絡			

<p>事業効果</p>	<p>【巣箱作り】参加した子どもは釘打ち、ネジ回しの体験ができ楽しかったという感想だった。クラブ会員にとって木工は貴重な体験であった。子どもが持ち帰った作品を見て材料を希望する家族もあった。子供達、会員共に出来上がった巣箱を木に掛け、野鳥が入るのを楽しみにしている。</p> <p>【有馬富士ウォーク】参加会員は有馬富士特有の樹木、野鳥の知識が増え、自然に対する更なる知識欲が刺激され、このような勉強会が楽しみになっている。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>コロナ禍の下、【巣箱作り】では三密を避けざるを得ず、限定された人数での子供達しか対応できず、又【有馬富士ウォーク】でもコロナ感染が心配で参加者が少なく残念であった。来年度はもっと数多くの活動をしたい。</p>

(活動状況写真)



2020年10月7日第15回会議



2020年10月16日巣箱作り材料カット



2020年10月24日巣箱作り



2020年11月29日有馬富士ウォーク



団体名 しぜんクラブ

団体設立 西暦2019年5月23日

活動分野 子どもの健全育成

設立目的 いきいき学舎フレミア環境・自然コースで昆虫や植物について学んだことを活かして、宝塚に住んでいる子ども達に自然と触れ合うことの楽しさを教えたい。会員も子ども達と一緒に楽しみながら自然についてさらに勉強していく。

事業名 (阪神北☆子育て応援コンソーシアムを作ろう！)

団体名	宝塚すくすくアカデミー	代表	落合 知美			
協働団体						
活動地域	宝塚市					
事業の目的・趣旨	<p>子育ては、社会全体で支えあうものであり、母親だけが担うものではありません。宝塚市内においては、各地域で子育て支援活動が実施されているものの、横のつながりが薄いという課題があります。また、育児真っただ中の母親が他団体の活動内容を収集することは難しいのが現状です。</p> <p>このため、親子で楽しめるイベントを実施することにより、子育て支援団体がお互いに顔を合わせて、相互の活動内容を共有し（阪神北☆子育て応援コンソーシアム）、よりよい子育て環境の実現を図るため、活動を行っています。</p>					
事業内容	<p>1 阪神北☆子育て応援コンソーシアムの設立 宝塚市内の子育て支援団体一堂に会し、問題点や解決方法、他市での成功事例について調査を行いました。会合を行う中で、新たな子育て支援団体「宝塚ミライキャンパス」の設立にもつながりました。</p> <p>2 親子イベントの開催 開催日時：2020年12月11日(金) 10:00~11:30 午前の部 12:30~14:00 午後の部 2021年1月28日(木) 10:00~11:30 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、人数を絞って実施しました。 開催場所：サードプレイス宝塚 開催内容：親子で楽しめるイベント（絵本の読み聞かせ、季節の工作、手遊び歌、チャイ講座）を実施しました。</p>					
事業スケジュール	実施日（年-月-日）		事業概要	参加人数（人）		
				スタッフ	来場者等参加者	
	2	8	25	設立準備会議(第1回)	1	2
	2	9	10	設立準備会議(第2回)	1	2
	2	9	24	設立準備会議(第3回)	1	2
	2	10	19	設立準備会議(第4回中央公民館)	1	3
	2	10	22	他団体との打ち合わせ	1	2
	2	10	23	設立準備会議(第5回)	1	2
	2	11	9	設立準備会議(第6回)	1	2
	2	11	10	スタッフ打ち合わせ	2	0
	2	11	12	スタッフ打ち合わせ	2	0
	2	11	19	スタッフ打ち合わせ	2	0
	2	12	11	親子イベント	2	20
	3	1	28	親子イベント	2	15
3	2	16	スタッフ打ち合わせ	2	0	
3	2	22	スタッフ打ち合わせ	2	0	

<p>事業効果</p>	<p>他の子育て団体と情報共有を行う中で、今後も地域全体で子育て支援活動を行ってほしいという一体感が醸成されました。実際に、参加いただいた方の一人が、宝塚ミライキャンパスを設立し、活動を開始されています。</p> <p>コロナ禍のため、大規模イベントの実施は自粛し、12月と1月に参加者を限定したイベントを開催しましたが、参加者からは今後も参加したいという意見をいただいています。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>今回は、新型コロナウイルスが感染拡大している状況を鑑み、呼びかけ範囲が宝塚市内の団体のみに限られました。今後は阪神北地域全体に規模を拡大させ、より広範なネットワークづくりに貢献したいと考えています。</p> <p>今後も大人数が集うことは難しい状況が続くと予想されるため、インターネットやメールなどを使ってのネットワーク作りや情報案内にも取り組んでいきたいです。</p>

(活動状況写真)



サードプレイス宝塚・玄関



12/11 親子イベント (季節の工作)



12/11 親子イベント (チャイ講座)



1/28 親子イベント (手遊び歌)

団体名

宝塚すくすくアカデミー

団体設立

西暦 2020 年 5 月 1 日

活動分野

子どもの健全育成

設立目的

当会は、「ヒトは社会の中で暮らし、子どもは社会で育てる」という理念のもとに、子育て世帯を中心とした地域活動を実施するとともに、参加者相互の親睦を深める活動を行う。

事業名 (西谷の地域資源を活かした里山の魅力を発信する冊子)			
団体名	宝塚にしたに里山ラボ	代表	龍見 奈津子
協働団体			
活動地域	西谷地域		
事業の 目的・趣旨	<p>本事業では、西谷地域の魅力である、これまで守り受け継がれてきた自然や里山の営み、文化、歴史、特産物をより多くの方に伝え、西谷への関心や愛着を育み、地域資源の発掘、魅力の向上、そして来訪者の増加による地域の活性化を目的とし、冊子制作を行います。</p> <p>西谷地域は、宝塚市北部に位置し、市面積の3分の2を占め、豊かな自然や美味しい農産物、都会にはない里山の景観や営みが残るとても魅力ある地域です。しかし、阪神地域では、西谷の認知度は低く、西谷の魅力や情報が上手く発信されていない等の課題があります。さらに、西谷地域での出生数は激減しており、人口減少・過疎化や急速に進む高齢化に伴う地域の課題に直面しています。西谷の自然や里山を守り残していきたい、今まで築かれてきた伝統や文化を伝承していきたい、そのために何かできることはないかと考え、西谷の魅力である里山の営み、農産物という地域資源を冊子として発信することで、西谷をPRし、認知度や関心の向上、地域の課題解決、活性化に寄与したいと本事業を考えました。</p>		
事業内容	<p>西谷の地域資源を活かした里山の魅力を発信する冊子制作事業</p> <p>①「西谷の里山の暮らしと西谷の食」の冊子制作</p> <p>新型コロナウイルス感染者の拡大によって変化した生活の中で、「西谷の里山の暮らしで培われた発酵という生活の知恵と西谷の農産物を活かしたレシピでおうち時間を楽しむ」をテーマに、特産である農産物と発酵を活かしたレシピを、都市部での生活でも取り入れるようにデザインし、新しい里山の楽しみ方を提案する冊子を制作。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：令和2年7月～令和3年3月末まで ・場所：西谷地域（冊子制作に関する写真撮影、レシピ考案等） ・配布：3000部印刷（希望者及び阪神北県民局など宝塚市内の公共施設、ご協力店舗施設にて配布） <p>②西谷の魅力PRのための情報発信</p> <p>より多くの方に西谷地域の魅力を知る機会を創出するため、西谷地域の情報や冊子の制作過程をホームページやターゲットの異なるSNS（Facebook、Instagram等）で発信。より広く、多くの方に西谷や冊子に親しみや関心を持っていただけるよう工夫。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：令和2年11月～令和3年3月末まで ・回数：32回以上 （SNS：Instagram、Facebookページ 当団体ホームページ） ・閲覧数：延べ26,700人以上閲覧 （平均 SNS Instagram：4000人/月間ビュー Facebookページ 700/月間リーチ、ホームページ 640人/月間ビュー） 		

	実施日（年-月-日）			事業概要	参加人数（人）	
					スタッフ	来場者等参加者
事業 スケジュール	2020	7	1	打合せ（レシピ提供依頼者の選定、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえたスケジュールの整理及び今後の進め方、取材に関する方針決定）	4	1
	2020	7	11	打合せ（デザインコンセプト策定、取材予定行事の中止に伴う掲載内容の変更確認）	2	1
	2020	8	17	打合せ（レシピ提供とレシピ内容）	3	2
	2020	9	5	打合せ（デザイン及びスケジュール確認）	2	1
	2020	9	25	打合せ（デザイン及びレシピ内容）	3	2
	2020	10	29	打合せ（レシピ作成の進捗確認、掲載内容の確認、挿入文章の箇所確認）	4	
	2020	11	1～	冊子挿入文章の作成及び校正	4	
				SNSでの投稿開始（随時西谷の情報やレシピノートに関する投稿を行う）	4	2
					4	5
	2020	11	24	打合せ（撮影、準備の確認、会場の使用可否の確認）		
	2020	12	8	冊子レシピ撮影及びレシピ修正のための試食 西谷夢プラザ及び同調理室にて	4	2
	2020	12	15～	レシピ調整作業、レシピテキスト確認、校正	4	1
				冊子デザイン作成	4	2
	2021	1	21	打合せ（冊子デザイン案確認）→修正作業	4	1
	2021	2	15～	デザイン確定→最終校正へ	4	
	2021	2	27	冊子入稿（3,000部）		
	2021	3	7	冊子完成 現物チェック、配布準備開始	2	
～	3	31	適宜配布可能な箇所へのレシピノートの配架			

<p>事業効果</p>	<p>本事業によって、多くの方に西谷の魅力である里山の営みや景観、農産物という地域資源を発信及び発掘し、西谷の認知度や関心の向上する機会を創出できました。</p> <p>SNS発信を強化したことで、延べ延べ26,700人以上が投稿を閲覧し、Instagramフォロワーは400人から800人に増加。SNSからのレシピノートに関するお問合せの増加、ファンの獲得、事業の周知に繋がりました。</p> <p>市民の方から「待ってました!!嬉しいレシピ集!!直ぐにもらいにいきます。」など、完成を楽しみておられるファンの方が増えました。また、宝塚市内だけではなく、阪神北地域や大阪北摂地域からのお問合せもいただき、遠方の方には適宜発送を行っています。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>課題としては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域の行事が開催されなくなり、取材ができなかったことです。今後の地域資源のPRとしても必要な素材であるため、来年度以降に取材に伺いたいと思います。</p> <p>今後の展望としては、地域の方をもっとより多く巻き込み、地域経済に寄与できるように活動を拡大していきたいと思います。そのために地域や他団体との連携できるように、地域の課題のヒアリングや地域資源のさらなる発掘を行い、丁寧な関係作りを行っていききたいと思います。</p>

(活動状況写真)



完成した冊子(表紙と1ページ目)



考案したレシピ、試食を行い改善点をまとめた



レシピノート掲載用の写真撮影



味噌づくりの過程の撮影

団体名 宝塚にしたに里山ラボ

団体設立 西暦 2017年4月1日

活動分野 まちづくり、子どもの健全育成他

設立目的 西谷地域の魅力を活かして、地域の課題、または社会的な課題を解決しようと「宝塚にしたに里山ラボ」を立ち上げました。宝塚市西谷地域を主な活動地域とし、子どもを主とした里山の自然体験や環境教育及び地域の課題解決や地域活性化等に関する事業を行うことを目的とし、活動しています。

事業名	(巡礼街道活性化プロジェクト)
------------	-------------------

団体名	特定非営利活動法人宝塚メディアネットワーク	代表	宮脇 英明			
協働団体	なし					
活動地域	宝塚市清荒神、中山寺、売布神社地域					
事業の目的・趣旨	<p>宝塚市内にある巡礼街道は、史跡としても貴重な遺産が数多く残されており、江戸時代以降、多くの参拝客が訪れていました。しかしながら、近年は参拝客が少なくなり、閑散としている現状があります。このため、宝塚ボランティアガイドグループと協働でウォーキングイベントを行うことで、清荒神、売布神社、中山寺の歴史と文化を見直すとともに、巡礼街道の魅力若くは若い世代へ伝えていくことにより、地域を活性化することを目的としています。</p>					
事業内容	<p>令和2年10月25日に、「宝塚巡礼街道いきいきウォーキング」として、宝塚文化財ソサエティのメンバーに各所を案内していただきながら、落語家笑福亭智丸さんと共に、清荒神、売布神社、中山寺の巡礼街道を楽しく和気あいあいとウォーキングをしました。参加者も20数名集まり、盛会のうちに終了しました。</p> <p>なお、令和2年11月29日は「宝塚巡礼街道出会うウォーキング」を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、参加者及び関係者の安全面を第一に考慮した結果、残念ながら中止といたしました。</p>					
事業スケジュール	実施日 (年-月-日)		事業概要	参加人数 (人)		
				スタッフ	来場者等参加者	
	2	6	14	執行部 打合せ 開催概要について	4	
	2	7	26	執行部 打合せ 開催概要について	4	
	2	9	16	執行部 打合せ チラシの配布について	4	
	2	10	20	執行部 10月25日の手順について協議	4	
	2	10	25	いきいきウォーキング開催	4	26
	2	11	20	執行部 出会うウォーキング開催について協議 中止決定	4	

<p>事業効果</p>	<p>令和2年10月25日「いきいきウォーキング」は参加者が26名、令和2年11月29日「出会うウォーキング」は参加申込者が16名で合計42名の集客ができ、当事業には一定のニーズがあることを実感しました。また、20代から70代まで幅広い年齢層の方に参加いただき、世代を超えた交流を行うことができたと思います。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年11月29日の「出会うウォーキング」を実施出来なかったことは大変残念ですが、申込者からはイベントの開催を希望する声も多くいただいております。今後も本事業を継続していきたいと考えています。今後の新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、感染防止対策を徹底したうえで実施したいと思います。</p>

(活動状況写真)



団体名

特定非営利活動法人宝塚メディアネットワーク

団体設立

西暦2012年10月19日

活動分野

芸術文化歴史、まちづくりなど

設立目的

地域住民に対して世代を超えた人たちがコミュニケーションを取れるよう、伝統芸能音楽等の文化振興事業、農村との交流支援等を実施し地域住民の「きづな」づくりと地域の活性化に寄与することを目的とする

事業名 (2020 「にしたによいしょ」プロジェクト)

団体名	にしたによいしょ		代表	林 治人		
協働団体	やまもり山里・宝塚発達コミュニティ「花」					
活動地域	宝塚市・三田市・猪名川町など兵庫県全域 (宝塚市西谷地域から拡げていく広域)					
事業の目的・趣旨	<p>都会の近隣にあり自然豊かで、のどかな里山や田園地帯である宝塚市北部西谷地域(市の2/3面積、県有林の半分)の良さや魅力を市民や県民に知らせるとともに、それらを全国や世界に発信する。西谷の自然や農業、歴史文化、芸術やスポーツ、遊び文化、観光、おもてなしの伝統文化等を再発見して、地域づくりを支援したり、先導的に寄与したり(再創造、モデルづくり)しながら地域の活性化を図る。また、楽しく幸せな地域での生活や学びのモデルを提案し、発信し、関係(信頼)人口を増やしていきたい。そして、未来に向けて、若い人たちが「暮らしやすい魅力ある地域づくり」の一端を担えるように努める。</p>					
事業内容	<p>宝塚市西谷地域の様々なモノ、コト、ヒトの「発見・元気・発信・再創造」の拠点づくり。地域誌「にしたによいしょ」を通じての文化・学び・発信の交流拠点づくり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域誌「にしたによいしょ」の編集発行 【地域取材・編集会議】 ※令和2年度は新型コロナウイルスの影響により発刊せず 地域資源(古民家等)を活用して、人を呼び、交流し、つながりの場づくり 【古民家シェアハウス化(えんがわ茶ロン)・宝塚市南部(都市部)の交流グループとの協働「にしたによいしょ」配架ラックの設置】 畑や里山を活かした交流の促進とつながり、そして生物多様性の保全と再生 【畑のシェア化(畑を通じて、都会の人とつながり交流する) 里山の活用(他の里山づくり活動、保全再生グループとの協働)】 アートを取り入れた交流とつながり 【「西谷をアートの里」に(昨年度の継続推進として実現に向けての企画検討)】 展覧会イベントやアートを通じて古民家や地域再生、体験型イベント 【壁画アートイベント・つながりアート】 SNS等で西谷のモデル的な取り組みを紹介発信する 【広報webサイト・フェイスブック等にて発信】 					
事業スケジュール	実施日(年-月-日)		事業概要		参加人数(人)	
					スタッフ 来場者等参加者	
2020		4	25~	<p>「にしたによいしょ」配架ラックの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 「カナカナカ文庫」との協力および設置整備 他の設置場所(地域ライブラリー)との交渉 	3人 3人	7人 2人
		4	25~	<p>つながり交流する(コロナ対策に留意して実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> 縁側の整備 	5人	のべ23人
		4	25~	<ul style="list-style-type: none"> 畑のシェア化 	3人	のべ20人
		10	18	<ul style="list-style-type: none"> 「森の音楽会」の開催 	5人	のべ35人
		7	18~	<p>編集会議・取材 ※リモート会議併用で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 西谷「ダリア」の宝塚市花選定の取材 	2人	のべ4人
		9	23	<ul style="list-style-type: none"> アートスポット探訪編の取材 	2人	4人
		10	30~	<ul style="list-style-type: none"> 地域内のアーティストの取材 	2人	2人
		2	25	<ul style="list-style-type: none"> 地域内のアーティストの取材 	2人	2人
2021		3	23	<p>「西谷をアートの里に(文化度アップ)」の検討会議</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくり協議会文化部の来年度企画会議に参画 	2人	4人

<p>事業効果</p>	<p>コロナの影響はあったが、活動内容を変更調整しながら進めたことで、効果が得られた。西谷の特産「ダリア」が宝塚市花になったのも「にしたによいしょ」の一つの力があったように思う。また、「森の音楽会」の開催協力等、地域の活性化に貢献できたと考えている。また、「えんがわ茶ロン」のつながり（社会福祉協議会と協働で実施）の拠点をつくることができた。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>令和2年度は新型コロナウイルスの影響により冊子発行ができなかったため、今後は感染症対策に十分留意しつつ、早期の紙面発行を実現したい。 また、地域コミュニティとのつながりや、配架ラックの設置箇所を増やすとともに、相互連携することで、西谷地域への訪問者、関係人口の増加につなげていきたい。</p>

(活動状況写真)



「にしたによいしょ」の取材・編集会議

「カナカナカ文庫」との協力制作

つながり交流

団体名 にしたによいしょ

団体設立 西暦2014年4月1日

活動分野 地域・生活・文化

設立目的 宝塚市北部地域（市の約60%の広さ）の良さや魅力を、市民や県民に知らせるとともに、それらを全国に発信すると同時に、地域の活性化を図る活動の一端を担う。

事業名 (親子でほっとする0才からの赤ちゃんひろば)

団体名	Apple kids	代表	増岡 由紀子		
協働団体					
活動地域	川西市				
事業の目的・趣旨	<p>子育てを始めたての新生児の親は、新しいことの連続で、日々不安を感じながら過ごしているという現状がある。おむつを替えても、母乳やミルクをあげても、ベビー服を着替えさせても、泣きやまない。どうしたらいいのか、原因もわからないまま頑張っているが、もう精神も体力も限界で助けてほしいという声を頻繁に耳にする。</p> <p>そこで、育児に関する悩み事を一人で抱え込まず、ストレスを軽減できるサポートが必要であるという問題意識から当団体を発足させた。子育てに関する悩みや情報を共有できる場を設けることにより、育児における孤立をなくし、育児ノイローゼなどの深刻な事態を未然に防ぐことを目的として活動している。</p>				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●実行委員会を年9回実施 ●親子で楽しみながらスキンシップができるベビーリトミック、ベビ一体操 ●子どもだけでなく、親も楽しめるハロウィンやクリスマスを開催 ●毎日の生活する上で悩みの多い、食育などの講座と実際にそれらを体験できるプログラムを実施 ●話しやすい雰囲気を作り、普段聞きにくいことも相談できる親の悩みの相談会を開催 ●年間9回のイベントは親の気持ちが楽になる内容にし、開催時には、毎回子育て相談の時間を設けた。 				
事業スケジュール	実施日 (年-月-日)		事業概要	参加人数 (人)	
				スタッフ	来場者等参加者
	R2	6 24	実行委員会①	4	
	R2	7 14	ベビーリトミック・本の読み聞かせ・子育て相談	3	6組
	R2	7 28	実行委員会②	3	
	R2	8 18	ベビーハズでお絵かきアート・子育て相談	2	7組
	R2	8 27	実行委員会③	3	
	R2	8 30	ベビ一体操・子育て悩み相談会	3	9組
	R2	9 8	実行委員会④	3	
	R2	9 29	何でもきいて！子育ての悩み相談会	3	9組
	R2	10 13	ベビーハロウィン・他団体（子育てサークル）との交流会	3	10組
	R2	10 27	実行委員会⑤	3	
	R2	11 10	実行委員会⑥	3	
	R2	11 24	ベビーのHAPPYはみがき・先輩ママに子育て相談会	3	9組
	R2	12 8	実行委員会⑦	2	
	R2	12 22	クリスマスパーティー・異世代親子と交流会	3	11組
	R2	1 26	食育講座・子どもの食に関する相談会	3	9組
	R3	2 9	実行委員会⑧	3	
	R3	3 9	ベビーリトミック・本の読み聞かせ・子育て相談	3	10組
R3	3 16	実行委員会⑨	4		

<p>事業効果</p>	<p>子どもと二人だけの生活で、周りに相談できずにストレスが溜まって気持ちの余裕がなくなり、子育てを大変に感じていたが、他の親と悩みを共有することで、ずいぶん気持ちが楽になり、前向きに子育てに取り組めるようになったという声を多くいただいている。定期的に子育て中の親子が集まれる場所と機会を提供することで、子育て仲間のネットワークづくり、地域とのつながりづくりの継続的なサポートをする体制ができたと感じている。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>周知方法が、チラシを配るという方法以外に SNS 等でイベントの告知が簡単にできるようになると、より多くの人に参加してもらえるとと思う。 web上で参加申込ができるようなシステムがあれば、より多くの人に参加してもらえるとと思うので、今後、ネットを利用して申込できる体制を考えていきたい。</p>

(活動状況写真)



R2.7.14



R2.8.18



R2.8.30



R2.9.29



R2.10.13



R2.11.24



R2.12.22



R3.1.26



R3.3.9

団体名 Apple kids

団体設立 西暦 2003 年 4 月 9 日

活動分野 子どもの健全育成

設立目的 子育て中の親子が集まり、親子で体を動かすスキンシップをはかることでストレスを発散し、子育て中の悩みをみんなで話し合うことで、不安や孤独感から開放する。

事業名	(みんなでマルシェ 2020)
------------	-------------------

団体名	一般社団法人 Sasabase	代表	藤井 文																																																									
協働団体																																																												
活動地域	川西市																																																											
事業の目的・趣旨	<p>当事業は地域で手作りされた小物やお菓子、総菜に野菜や果物などを持ち寄り販売頂くイベントですが、その主旨は市内の繋がりを広げることにあります。</p> <p>イベントを開催する中で、参加者同士が繋がる機会を提供するとともに、参加者が個々に自らイベントを主催する機運を高めていきたいと考えています。</p>																																																											
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●キセラ川西せせらぎ公園を利用し、市民参加型のマルシェを展開しました。新型コロナ感染対策のため来場者数の制限等行いましたが、子ども～シニアまで問わず、市内在住在勤者、幅広くご参加頂きました。 ●会場全体をキャンドルライトでデコレーションし、参加者を分散させることで、密を避けて楽しんでいただきました。 ●ボランティアミュージシャンや CD 音響及び場内 MC でも雰囲気創りを行いました。 ●出展者は、手作りの小物やお菓子、ワークショップ等、多岐に渡っています。 ●「みんなでマルシェ 2020」開催日 開催日時：令和 2 年 11 月 7 日（土）10：00～16：00 開催場所：キセラ川西せせらぎ公園 内容：マルシェ 																																																											
事業スケジュール	実施日（年-月-日）	事業概要	参加人数（人）																																																									
			<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%; border-bottom: 1px dashed black;"></th> <th style="width: 10%; border-bottom: 1px dashed black;">スタッフ</th> <th style="width: 10%; border-bottom: 1px dashed black;">来場者等参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">2020</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">5</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">30</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">事業詳細・イベント内容についての会議</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">4</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>6</td> <td>15</td> <td>当日販売内容や出店ルールの協議</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7</td> <td>15</td> <td>当日レイアウトの協議</td> <td>4</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9</td> <td>15</td> <td>当日の予定を協議</td> <td>4</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>準備状況確認ミーティング</td> <td>4</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10</td> <td>30</td> <td>イベントに向けた最終会議、準備</td> <td>4</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11</td> <td>7</td> <td>みんなでマルシェ開催</td> <td>4</td> <td>498</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12</td> <td>15</td> <td>開催後ミーティング</td> <td>4</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">2021</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">2</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">18</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">活動成果のとりまとめ</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">4</td> <td style="border-bottom: 1px dashed black;">15</td> </tr> </tbody> </table>		スタッフ	来場者等参加者	2020	5	30	事業詳細・イベント内容についての会議	4			6	15	当日販売内容や出店ルールの協議	4	12		7	15	当日レイアウトの協議	4	10		9	15	当日の予定を協議	4	15		10	15	準備状況確認ミーティング	4	13		10	30	イベントに向けた最終会議、準備	4	15		11	7	みんなでマルシェ開催	4	498		12	15	開催後ミーティング	4	10	2021	2	18	活動成果のとりまとめ	4	15
	スタッフ	来場者等参加者																																																										
2020	5	30	事業詳細・イベント内容についての会議	4																																																								
	6	15	当日販売内容や出店ルールの協議	4	12																																																							
	7	15	当日レイアウトの協議	4	10																																																							
	9	15	当日の予定を協議	4	15																																																							
	10	15	準備状況確認ミーティング	4	13																																																							
	10	30	イベントに向けた最終会議、準備	4	15																																																							
	11	7	みんなでマルシェ開催	4	498																																																							
	12	15	開催後ミーティング	4	10																																																							
2021	2	18	活動成果のとりまとめ	4	15																																																							

<p>事業効果</p>	<p>1. コロナ禍により規模を縮小して実施しましたが、多世代でバックグラウンドに関係なく地域の住民が集う場を持つことで、お互いを尊重しつつマルシェを盛り上げようという雰囲気醸成されたと思います。また、地域の関係人口の増加に貢献できたと考えています。</p> <p>2. マルシェを開催する中で、自らイベントを実施したいという方と繋がることができました。今回得られたネットワークを活かし、新たな活動に繋げていきたいです。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため入場制限や検温等行いましたが、マルシェの特性上、どうしても多少の接触は避けられないと感じました。なお、開催後の健康被害等の報告は受けていません。</p> <p>また、ミーティングは全てオンラインで実施しましたが、オンライン会議に慣れていない方も多いため、どのように円滑なコミュニケーションを図っていくかが課題です。</p>

(活動状況写真)



【会場設営】



【参加者の様子】



【マルシェの様子】



【マルシェの様子】

団体名 一般社団法人 Sasabase

団体設立 西暦 2020 年 4 月 15 日

活動分野 地域活性化

設立目的 空き家の利活用、学び合いの場創り 農業交流

事業名 (親子で楽しむ科学実験教室！)

団体名	エジソンクラブ	代表	増岡 由紀子		
協働団体					
活動地域	川西市				
事業の目的・趣旨	<p>共働きやひとり親家庭の世帯が増えたことにより、平日は子どもと接する時間が十分にとれていないという家庭が多くある。また、子どもが興味をもった放課後のイベントがあっても、仕事で送り迎えができないなどの理由で参加できないことが多い。</p> <p>そこで、土・日・祝日や夏休みなど、休日に親子と一緒に参加できる、幼児・小学生を対象とした科学実験教室を開催するため、当団体を立ち上げた。教室では親子と一緒に楽しく遊べるような内容で開催し、親子の会話のきっかけづくりにも貢献したいと考えている。</p>				
事業内容	<p>(1) <u>黒い泡から酸素がでてくる？</u> 気体は空気のように目に見えないし形もないが、泡から何が出ているのか実験で確かめた。</p> <p>(2) <u>炎色反応～花火の色のひみつを解き明かそう～</u> 花火にさまざまな色があるのはどうしてなのか、実験でその仕組みを確かめた。</p> <p>(3) <u>カラフルイクラ</u> 身近な物質と化学薬品が反応させて人エイクラを作り、科学を身近に感じてもらった。</p> <p>(4) <u>クリスマスキャンドルを作ろう</u> ろうそくが燃える理由を実験で確かめ、各自でクリスマスキャンドルを作った。</p> <p>(5) <u>光るエジソンくんを作ろう</u> 豆電球を利用してエジソンくんを作ること電気回路を理解し、モーターで走る車を作り、光るエジソンくんを動く車に乗せて動かした。</p>				
事業スケジュール	実施日 (年-月-日)		事業概要	参加人数 (人)	
				スタッフ	来場者等参加者
	R2	7 1	実行委員会①	4	
	R2	7 20	(1) 黒い泡から酸素がでてくる？	3	6 組
	R2	7 22	実行委員会②	4	
	R2	8 19	(2) 炎色反応～花火の色のひみつを解き明かそう～	3	10 組
	R2	8 26	実行委員会③	4	
	R2	9 18	(3) カラフルイクラ	3	6 組
	R2	11 18	実行委員会④	4	
	R2	12 18	(4) クリスマスキャンドルを作ろう	3	8 組
	R3	1 20	実行委員会⑤	3	
	R3	3 19	(5) 光るエジソンくんを作ろう	3	8 組
R3	3 22	実行委員会⑥	3		

<p>事業効果</p>	<p>科学実験を通じて、親御さんからは普段なかなか見られない子どもの様子や成長を見ることができたという声をいただいている。子どもたちにとっては、自ら考えて取り組み、達成感や自分で作ったものを親に見てもらえる嬉しさを味わうことができた。また、親子と一緒に実験に取り組むことで、親子の交流のきっかけづくりになったと感じている。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>より多くの人に活動を知ってもらうために、広範な周知活動が必要だと思った。地域の自治会の回覧板などにチラシ等を載せることができれば、地域の方が興味を持って参加しやすくなると思うので、今後自治会の方々と協議していきたい。また、SNS を活用することができれば、参加者が多くなると思うので、ネットを使った周知活動にも力を入れていきたい。</p>

(活動状況写真)

R2.7.20



R2.8.19



R2.9.18



R2.12.18



R3.3.19



団体名 エジソンクラブ

団体設立 西暦 2008 年 7 月 16 日

活動分野 子どもの健全育成

設立目的 「なぜ、どうして?」という好奇心を大切に、子どものじぶんでやりたいという自発性を育てたい。子どもが主体で、科学工作や実験をすることで、身近に科学を感じ、科学に興味をもち、実験、体験を通じて健全な成長を目指す。

事業名

(かわにし音灯り 2020～想いを紡ぐ、未来へ繋ぐ希望の光～)

団体名	かわにし音灯り実行委員会	代表	榎本 祐大			
協働団体	川西市中心市街地活性化協議会・川西市・川西市教育委員会・一般社団法人 Sasabase					
活動地域	キセラ川西せせらぎ公園					
事業の目的・趣旨	<p>1. 大型防災公園（キセラせせらぎ公園）を利用し、大規模（総来場者数 8000 人/2019 年度）なイベントを開催することによって、<u>参加メンバーの信頼関係を深めるとともに新たな参加者（次世代）を募り市民の繋がりを広め、「かわにし」をより良いまちにしていこう</u>ことを目指す。</p> <p>2. イベントの企画や準備を川西市民や川西市に縁のある方で結成する実行委員会で行うことにより、互いの信頼関係や敬意の心を育み、<u>シビックプライドの醸成を図る</u>。</p>					
事業内容	<p>●市民参加型イベントとして川西市内の学校に音灯り開催を周知し（チラシや SNS）個人（家族）にも手作りキャンドルの制作を周知する。その周知をふまえた上で当日会場にてキャンドルワークショップを行い、制作していただいたキャンドルをライブ配信で1つ1つ映し、「<u>家族と家で楽しむイベント</u>」を体験してもらう。</p> <p>●イベントの準備期間は月 1 回以上のミーティング（オンライン会議とリアル会議）を行う。SNS 等で新規参加者を募集しオンライン会議でも出来る限りの自己紹介や音灯りの歴史について共有しソーシャルディスタンスの中で<u>人と人の繋がりを、まちづくりの楽しさを共有する</u>。</p> <p>●「かわにし音灯り 2020」の開催 開催日時：令和 2 年 11 月 7 日（土）13：00～20：00 開催場所：キセラ川西せせらぎ公園 内容：開催日当日のワークショップで制作したキャンドルを灯し ステージではアーティストや地元ダンス団体が PR を行い、飲食は川西市で飲食業を営む個人店舗などが出店する。ワークショップは 16 時まで開催しそれ以降は実行委員会メンバーと当日ボランティアスタッフのみでキャンドルを灯し、音楽ステージと合わせて YouTube ライブ配信する 参加者：200 人（会場に受付を設置し会場内に 200 人以上入らないように制限）</p>					
事業スケジュール	実施日（年-月-日）		事業概要	参加人数（人）		
	2020	5	30	事業詳細・イベント内容についての会議（オンライン）	14	
		6	10	当日販売グッズ内容の協議	7	
		6	20	音楽ステージゲストアーティストの協議	10	
		7	15	飲食出店者の協議	10	
		8	15	事業詳細・イベント内容についての確認	16	
		9	10	音楽ステージ出演者一般公募開始	5	
		9	14	クラウドファンディング開始	4	
		9	30	音楽ステージ出演者の協議・確定	8	
		10	25	イベントに向けた最終会議、準備	23	
		11	6	かわにし音灯り前日準備	30	
		11	7	かわにし音灯り開催	40	200
		12	22	開催後のミーティング	12	
2021	1	7	活動成果のとりまとめ	3		

<p>事業効果</p>	<p>1, 実行委員会立ち上げから開催前月まで常時委員会メンバーを募集し、イベント開催を通して実行委員会メンバーはもちろん、イベント参加者（市民）も自分のまちに愛着を深め、参画意識を高める機会になった。</p> <p>2, イベント情報、どのような人間が関わっているか、準備段階から SNS 等で発信し、イベント開催日に多くの市民または周辺市町村の方々に来場してもらい、<u>交流人口の増加</u>につながった。</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●2020 はゆめづくり補助金の他、開催資金を募るクラウドファンディングに挑戦し目標額を達成したおかげで開催することが出来たが、今後資金面で自立していけるように経費削減と開催資金の獲得方法を練る必要がある。 ●若い世代が中心となって初年度の音灯りでしたが、先輩方が作り上げたイベントをさらに下の世代に引き継いでいけるような「楽しい」「明るい」雰囲気を醸成したい。

(活動状況写真)



【会場設営の様子】



【参加者の様子①】



【参加者の様子②】



【キャンドルライトを点灯】

団体名 かわにし音灯り実行委員会

団体設立 西暦 2020年3月25日

活動分野 地域活性化、まちづくり

設立目的 2011年から、人と人のつながりを意識し街を活性化させる団体「街はカーニバル!!プロジェクト」のイベントの一環として開催し続けてきたかわにし音灯り。今年度からイベントに新しい意見を取り込むため、若い世代を中心に実行委員会を設立。古き良き伝統を守りながらイベントの若返りを目指す。

事業名		(わがまち再発見プロジェクト)				
団体名	多田東コミュニティ協議会	代表	岩田 秀雄			
協働団体						
活動地域	川西市 (平野・東多田・鼓が滝・多田桜木)					
事業の 目的・趣旨	<p>多田東コミュニティ協議会は、川西市に存在する 14 のコミュニティ協議会の一つであり、多田東小学校区内を活動地域として、よりよい地域社会の形成に向けて活動している。夢づくりの助成は今回で 3 度目であり、令和 2 年度は下記の目的に沿った事業を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域の歴史遺産を再発見すること。 2 地域の文化遺産を再発見すること。 					
事業内容	<p>今年度は「わがまち再発見プロジェクト」として、多田東地域の歴史に親しめる下記の事業を実施した。学習会や講演会の講師として、郷土歴史家である岡野慶隆氏を招致し、地域住民とともに、自分たちのまちの歴史を再認識する機会を設けた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 勉強会 (岡野慶隆氏とともに地域の歴史を学ぶ) 2 検討会 (当協議会の事業内容の検討を行う) 3 講演会 (岡野慶隆氏に多田の由来についてお話いただく) 4 歴史遺産の現地見学会 5 歴史遺産マップを作成し、行政機関や地域の各戸に配布する。 6 反省会 (令和 2 年度の事業を見直し、今後の取り組みの検討) 					
事業 スケジュール	実施日 (年-月-日)		事業概要		参加人数 (人)	
					スタッフ	来場者等 参加者
	2	9	5	まちづくり委員会のメンバーで企画会	6	
		10	10	歴史勉強会	6	15
		11	7	歴史勉強会	6	17
	12	5	歴史勉強会	6	14	
3	3	21	歴史講演会・現地見学会 (※1/17 に開催予定だったが新型コロナウイルスの感染拡大に伴い 3/21 に延期) 反省会と今後の活動内容検討	15 11	49	

<p>事業効果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 わがまちの歴史遺産・文化遺産を再発見することができた。 2 地域住民に地域の遺産に関心を持っていただくことができた。 3 地元で歴史の研究をしている方と交流することができた。 4 勉強会の内容等をもとに、詳細な歴史遺産マップを作成することができた。 5 今後も勉強会を継続したいという声が多く寄せられた。
<p>課題及び今後の展望</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 今後も歴史勉強会は定期的を開催していきたいと思う。 2 地域の里山づくりを新たに実施していきたいと考えている。 3 川西市の教育委員会と協働し、現地に歴史遺産を案内する看板を設置したい。

(活動状況写真)



3/21 歴史講演会



3/21 現地見学会



多田東会館 (勉強会・講演会会場)

団体名 多田東コミュニティ協議会

団体設立 1982年4月1日

活動分野 地域活動全般

設立目的

多田東小学校区を活動範囲とし、地域内の福祉・安全・文化スポーツ及び親睦などを目的として設立。

事業名		(読書・社会貢献活動応援、地域担い手土壌づくり)			
団体名	はなまるクラブ	代表	会長 福島 美香子		
協働団体	無				
活動地域	伊丹市 宝塚市 川西市 三田市 猪名川町				
事業の目的・趣旨	<p>阪神北地域の青少年を対象に、世代間交流を促し、それにより次世代の地域づくりの担い手を育てていくことを目的として活動している。</p> <p>令和2年度は、「読書を通じて、豊かな心を育む」をテーマに据えて、朗読会や絵本の読み聞かせ、紙芝居の作成等を新たに実施した。</p> <p>令和2年度は、川西市を中心に多くの学校に周知活動を行い、小学校から中学校まで7校の生徒に当事業に参加いただいた。</p>				
事業内容	<p>1 地域の担い手土壌づくり活動</p> <p>青少年から大人まで幅広い世帯が交流できる場を提供しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、ZOOMでの会議やライブ配信も行いました。令和2年度は主に本を読む楽しさやその感動を共有することで、青少年の豊かな心を育むことに主眼を置きました。</p> <p>○ 「鬼滅の刃」の仮面をつけてアフレコ朗読会にチャレンジしました。2020年11月に地域の文化祭で読み聞かせを披露する予定でしたが、コロナの感染拡大により文化祭が中止になりました。来年度はぜひ参加したいと思います。</p> <p>○ 絵本読み聞かせ用物語創作活動（宝塚、伊丹、川西市、猪名川にある高校へ依頼）</p> <p>○ アソシアジョブ川西（川西市の就労継続支援A型・B型施設）の20代若者へイラスト作成協力依頼</p> <p>○ 物語創作活動及び紙芝居の作成</p> <p>○ 「絵本の続きを考える会」のオンライン開催</p> <p>○ 「えんとつ町のプペル」の朗読会（Youtubeでピアニスト2名と共演）</p> <p>○ 「みとめて、つながって、聴いて」をテーマに講演会を開催</p> <p>○ 講師を招致して青少年のカウンセリング機会を提供</p> <p>○ モルック日本代表の方を招致して体験会を開催</p> <p>2 「社会貢献活動」の実施</p> <p>地域の青少年に社会貢献活動に関する講座を受講してもらったうえで（受講生を「はなまる隊」として認定）、公共施設内清掃ボランティア活動を行いました。</p>				
事業スケジュール	実施日（年-月-日）		事業概要		参加人数（人）
					スタッフ
2020 7 ~		<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営企画会（随時） ・ 協力団体との情報共有など、意見交換会 4回 (7/5 8/23 9/3 3/31) ・ コミュニティー文化祭は中止 ・ 地域の公共施設内清掃ボランティア活動 1回 ・ はなまる隊講座 (12/19 12/28 3/27) 3回 ・ 絵本の続きを考える会 オンライン開催 11回 (11/12 11/19 11/21 11/26 12/17 1/28 1/30 2/4 2/14 2/25 3/18) ・ カウンセリング実施 (9/17 10/26) 2回 ・ モルック体験会 (12/17) ・ 朗読会 ・ 「みとめて、つながって、聴いて」講演会 		5	12
				23	151
				26	24
				4	3
				3	11
				4	21
				4	21

<p>事業効果</p>	<p>朗読会や絵本の読み聞かせを通じて、参加した学生からは司書を目指したい、今後もアフレコ朗読にチャレンジしたいといった意見をいただきました。この活動により子ども達に本に関心をもってもらうとともに、たくさんの将来の地域の担い手（社会資源）を育むことにつながりました。</p> <p>（活動に参加した高校生 1 年生の感想抜粋）</p> <p>こういう機会がなかったら、自分から小さな子どもや親御さんに関わる機会も作らなかつたらろうし、地域の大人と話すこともないままでした。経験できないことをたくさん経験できました。成長できた部分がたくさんありました。例えば、人見知りだった私が、人前で話すことに抵抗が少しはなくなったこと、努力することの大切さ、何か一つのことをやり遂げた充実感、そういった学校では経験したり、学べないことを改めて経験できて、一人でも自発的にできることを増やしたい、やると決めたことは最後までやり遂げ、それを継続して、無理しすぎない程度に無理をしたいとおもいます。参加して良かった。</p> <p>【活動に参加した学校】</p> <p>県立川西緑台高、県立川西北稜高、県立猪名川高、川西市立多田小学校、大阪教育大学付属池田中学校、川西市立多田中、多田東小</p>
<p>課題及び今後の展望</p>	<p>コロナのため、対面での会議や活動が憚られたため、積極的な周知は難しかった。市外の青少年たちへの活動紹介や活動への参画がしてもらえなかった。</p> <p>次年度は、学校の部活、生徒会等や他団体等限定しないで、当事業の周知活動を行いたい。</p>

(活動状況写真)



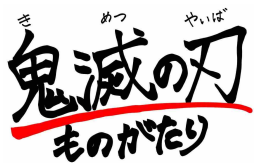
アフレコ朗読会



絵本の続きを考える会



絵本の続きを考える会挿絵



①前説（プロローグ）

炭) みなさんこんにちは！
俺は鬼を倒す鬼殺隊に所属している
竈門炭治郎って言います。
今日はどうして鬼殺隊に入ることにな
ったのかを話そうと思う！
それではさっそく鬼滅の刃物語の
はじまりはじまり～



団体名 はなまるクラブ

団体設立 西暦 2016 年 4 月 1 日

活動分野

設立目的 さまざまな世代、異年齢が集まり、ともだちを増やす場を作り、地域の社会資源の情報を「井戸端会議」のように共有し、よりよい地域を作り、地域の安心安全をまもる担い手の確保や次世代への社会資源の伝承をめざす。